

そうだよねえとは思っていましたが、改めて節目で考えると本当に早い。

実は、僕たち夫婦が訪問診療を始めたのが1997年11月最初の日曜日。つまり、今月から25年目を迎えます。なんと四半世紀。思い返すといろいろなことがありましたが、今となっては一瞬ですね。二十歳代、三十歳代の頃、25年後なんて果てしなく先でしたが、過ぎてみるとあっという間です。

今でも訪問をする歯科はメジャーとは言えませんが、若い世代がバリバリやってくれています。これからの発展が楽しみです。

## おかゆ大福

今年、僕たちの仲間でパタカせん

べいを作り、発売しました。おかげさまで好評で、いろんなところで購入いただいているようです。

それとは別に、飲み込みの機能が低下した高齢者にも食べやすい「おかゆ大福」というものがあります。別に僕たちは開発には携わっていませんが、とてもニーズがあるなあと思っています。

皆さんも聞いたことがあるかと思いますが、お正月にお餅をのどに詰まらせて亡くなる方がいます。なんと年間3500人



です。そんな危ない物が社会問題にならないのが不思議なくらいです。日本の伝統的なもので、お餅好きな高齢者が多いとい

うことでしょうか。そういうこともあり、高齢者施設では「餅つき」の行事はあるけどパフォーマンスだけで、実際にお餅は食べさせないということもありません。

でも、それでは寂しいですよ。そこでこの「おかゆ大福」。お餅と一緒にか？と言われると少し違いますが、老舗の和菓子屋が作っているもので、和菓子としてとても美味しいものです。そしてもちろん、窒息などが起きにくい素材で作られています。身内をお餅の窒息で亡くされたことが開発のきっかけとか。

冷凍で販売されていて、60日は保管できるようです。10個単位の販売です。ご興味があればQRコード先から購入してみてください。ださい。お餅の事故、少なくなるといいですね。

